

バンコク労働フォーラム2007開催

2007年10月4日・5日、国際労働者交流センター（ICLS）はタイ、バンコクで「バンコク労働フォーラム2007」を開催しました。JR総連から22名が参加し、JR東海労から淵上委員長が参加しました。

ICLSは2005年に結成され現在8カ国9組織が加盟し、各国の労働組合・労働者に対する国家や企業権力による弾圧に対して、相互に連帯し支援・激励の取り組みを行っています。その一つとして、指名ストライキの支援として06年1月に、韓国代表が新幹線地本に激励にかけつけてくれました。



フォーラムでは、各国の労働組合から約100名が参加し、労働組合・労働者への国家・企業権力からの弾圧に対する闘いの報告がありました。アジア地域での日本企業の人権を無視した社員管理や労働組合への弾圧、不当解雇の実態や非正規社員の問題について報告され、連帯した闘いを各国において取り組んでいくことが確認されました。

またミャンマーの船員組合から、労働組合が非合法化されているためタイに亡命して活動していることや、軍事政権による人民への武力弾圧の実態についてビデオと写真で報告がありました。

JR総連からも多くの発言があり、淵上委員長から名古屋地本加藤業務部長への不当懲戒解雇処分の報告と支援をお願いする発言を行いました。

来年は、11月に沖縄で開催されます。



泰緬鉄道建設で日本軍による強制労働の犠牲者に対し献花しました。